

具體的なるコロナ対策を乞ふ

兒玉 稔

コロナパンデミック益々その勢ひを増しつつあり。

政府、行政ともに「今が正念場」と言ふ。この科白、先月も先先月も同じ口より出でたり。聞き倦みの感、蓋ふべくもなし。

彼等の心には、ワクチン接種率これ一定の数値に至らば収束に向ふとの期待ありて、それを坐して待つものの如し。然は然りながら、自肅要請するほかに何らの策無きはあまりに腑甲斐なしとこそ思へ。或は横著にも、なるようにしかならず、と考へ居るものか。

將又、更に重大なる事態に至る時に責任を追及せらるるを豫期し、その時が來たらば、我等は自肅を要請したり、國民はその要請に應ぜざりき、由りて責任は我等に無くして國民の側にあり、と言はむとの魂膽か。

今にして思へば、昨年 of 唐突なる全國一斉休校、マスク配付、それに續く全國民への給付金、ゴートウキヤンペーン等、成否は兎も角、なにかの対策を目に見える形にて打たむとする政府の眞剣さを我々に感ぜしむるものなりき。それ今の彼等に無し。

他方、報道機關は患者數を連日傳へて危機感を煽るものの、感染源感染経路その他を分析する智慧なきが如し。單なる地域別發生數を各メディア同様に傳ふるに如何程の價值ありや疑問なれども、これは別しての議論としたし。

我が思ふ具體策の一例に、飲食店に休業、時間短縮、酒類非提供を一律に要請するを改め、飲食店を一つ星、二つ星等に格付けして、格に應じ規制を緩める案あり。

狭く騒々しき居酒屋と静か悠々たる一流レストランを均し並に扱ふは不平等と言ふべし。事實、過日訪問せる某旅館の食堂は全て小人数用の完全個室にてありき。ここにて家人と二人食事するに感染の恐れ極小なるべし。

かかる店には、厨房、接客陣にも相應の基準を課して、高格付を付與し、格付毎に規制の適用より除外さる特權を與ふるに然程の異論あることなし。格付作業の手間費用は、休

業を強制する時の補償金額に比すれば、割に合ふべし。料理人店員の雇傭も繼續し、コロナ後の景氣恢復時にも資するべし。更に、斯くも長き自肅自肅に倦みたる人々にとりては、酒付き外食可能なる店の存在を知るのみにても、鬱鬱たる氣分幾分晴るるにあらざや。高格付店の飲食代は居酒屋よりも高價なる當然なれども、外食頻度減じたる今、偶々の贅澤、いかほどのことかある。

全飲食店を格付する必要決して無く、これを欲する店のみ調査員を派遣して、換氣廚房接客の衛生管理、客配置方などをチェックせしめて格を決めることにて足るべし。その後も調査時點の結構を維持すや否やを検査の爲、抜き打ち現地調査は不可欠なり。格付作業管理はパンデミックによる失業者多しと聞けば其れ等の人の活用あるべし。役所お定りの、天下り先確保に繋がる格付用外郭團體を新設して充當する思惑出づとも今回は許すべし。

格付に相應しき投資を成し得ざる居酒屋には氣の毒なれども、さりとて居酒屋の客を奪ふには非ざる上、コロナ対策充分にする店に居酒屋と同じ規制を課するは、逆の氣の毒と言ふべし。

何にしても馬鹿の一つ覚えよろしく自肅自肅とのみ繰返すは止めにして、工夫の上、具體的の案をこそ期待すれ。

(令和三年八月九日受附)